



巻頭言

脳神経内科

講師 / 栗城 ^{くりき} ^{あやこ} 綾子

このたび、2022年4月1日より脳神経内科の診療責任者を務めることになりました、栗城綾子と申します。2014年3月に当院が開院してからこれまで、地域のみなさんの脳卒中診療を中心に努めてまいりました。今期にはメンバーの大きな入れ替わりがありましたものの、ひきつづき地域の神経救急（脳卒中だけでなく、髄膜炎・脳炎、急性の麻痺をきたすギラン・バレー症候群などの急性疾患も含まれます）診療を続けております。また、外来では頭痛・しびれ・ふるえ・記憶力の低下などの症状についても詳しい診察・診断・治療を行っています。どうぞよろしくお願いいたします。

今回は、「脳梗塞」の診療について、あらためてお話ししたいと思います。脳梗塞とは、脳の血管が突然詰まって脳細胞が壊死に至り、片麻痺や言語障害など、様々な症状を引き起こす疾患です。「脳卒中」というのは、この脳梗塞に、脳出血、クモ膜下出血をあわせた突然おこる脳血管障害の総称です。現代の日本では、欧米型の食事による生活習慣病や、高齢の方におこりやすい心房細動とよばれる不整脈が増えてきたことで、脳出血やクモ膜下出血よりも脳梗塞の患者さんのほうが多くなっています。

脳梗塞を起こしたときに重要なのは、まずは「できるだけ早く」病院に来ていただき、急性期治療を行うことです。発症から数時間以内に行うアルテプラーゼ静注療法や、カテーテル治療が間に合うかどうかは、一分一秒を争います。また、それら以外の抗血栓療法（いわゆる、血をさらさらにする薬）やその他の点滴療法、リハビリテーションも、できるだけ早く、適切な時期に開始することが重要です。時間がたてばたつほど、症状は固定し、回復しづらくなってしまいます。

さらに、脳梗塞を起こした原因を徹底的に調べあげ、もっとも適した再発予防をみつけ、続けることも重要です。近年では、以前はわからなかった脳梗塞の原因が様々な方法で突き止められるようになってきています。心房細動、卵円孔開存などの心臓疾患は、見つければその後の治療にもつながります。脳血管や頸動脈のみならず、胸部大動脈に動脈硬化があることもあります。なかには、脳梗塞以外の病気—がんや自己免疫疾患、炎症性疾患などが隠れていて、それらが脳梗塞をきっかけにみつかることもあります。

当院では、私たち脳神経内科と脳神経外科の医師が脳血管センターという同じチームに所属し、また、リハビリテーション科や循環器内科とも垣根のない密な連携をとることで、総合的な脳梗塞診療を可能にしています。脳梗塞は身近な病気です。健康に長く生活していただくために、いま一度、治療の重要性を皆さんに知っていただければと思います。



経食道心エコーを施行している様子



第98号のトピックス

- 巻頭言（脳神経内科）
- 「心臓手術をした人も一緒にジョギング&ウォーキング大会」開催
- 「女性と子どものための区民公開講座」を開催しました
- ご意見ご要望
- 編集後記

「心臓手術をした人も一緒に ジョギング&ウォーキング大会」開催

心臓血管外科 / 教授 ^{やまぐち ひろき} 山口 裕己



恒例となった全員での記念写真 ※撮影のタイミングのみマスクを外しました。

「心臓手術した人も一緒にジョギング&ウォーキング大会」が、5月8日（日）に病院隣の豊洲西小学校で開催されました。

心臓手術をした後、運動を再開するにあたり不安な気持ちを抑えて、皆でちょっとだけ背中を押してあげるような機会があるといい…そんな思いで2017年に始まった「のんびり、ゆっくり、休み休み」を合言葉にするスポーツイベントです。

多くの当病院スタッフもボランティア参加しています。コロナのために開催が中断していましたが、3年ぶりに開催することができました。

屋外開催、マスク着用、検温、消毒用アルコールといった感染対策、熱中症対策（水分補給）、AEDや車いすなどで万が一に備えつつ、無事に終了しました。



山口代表理事（循環器センター長）のあいさつ



病院の周りをボランティアと一緒にウォーキング



ウォーキングの途中にはクイズコーナーもあり、歩きながら考えて楽しみました。



リハビリテーション科による準備体操、ストレッチ、ウォーキング指導



ジョギング参加者はプロコーチの指導を受けました。



公募により400点以上の中から決まった新ロゴマーク

「女性と子どものための区民公開講座」を開催しました

周産期センター / 助教 こまつ れいな 小松 玲奈

2022年5月7日(土)、8日(日)に江東区豊洲文化センターにて第38回日本産婦人科感染症学会学術集会を当科 大槻 克文 教授が主催しました。

学会中に、「女性と子どものための区民公開講座 - 新しい命の誕生と子どもたちの健全な発育のために知って欲しいこと」を併催しました。



薬剤部 大戸 祐治 助教
「抗菌薬って何？」
抗菌薬についての正しい知識を分かりやすくお話いただきました。

薬剤部 関戸 匡恵 助教

「風邪に抗菌薬？」
風邪に抗菌薬は効かないこと、風邪をひいた時はどうすれば良いか等をわかりやすく解説いただきました。



歯学部歯周病学講座 小出 容子 講師 「妊娠前からお口のケアを」
妊娠中にお口にトラブルが起こりやすくなる原因、妊娠前から注意できることなどについてお話いただきました。

小児内科 中野 有也 准教授

「妊娠中の感染症が胎児に与える影響 -DOHaD 学説と感染症-」
妊娠中の低栄養、ストレス、感染症は、生まれてくるお子さんのその後の人生に大きな影響を与える大きなファクターであることを解説いただきました。



産婦人科 近藤 哲郎 准教授
「子宝を願う今、不妊治療でできることは？」
最新の不妊治療についてわかりやすく解説いただきました。

当院は大学病院かつ地域周産期母子医療センターの指定を受けており、「女性と子どもにやさしい病院」をスローガンとして、こどもセンター(小児内科・小児外科)、救急センター、薬剤部、歯科をはじめとした他の診療科との連携で、妊娠前・妊娠中・産後の母児の健康管理や疾患治療を行なっています。

江東区で唯一の新生児集中治療室(NICU)(2022年6月現在)では出生後の高度な新生児医療を提供し、お子さんの健やかな成長の手助けを行なっています。

また、地域の中核病院として婦人科良性疾患や腹腔鏡手術にも対応できる体制を整えております。患者さんのニーズにお応えして、不定期ではありますがリプロ外来(不妊外来)初診、妊娠初診、遺伝相談(NIPT 外来)は土日祝も開設しています。お困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。詳細は当科ホームページをご覧ください。

第38回日本産婦人科感染症学会 区民公開講座

女性と子どものための区民公開講座

新しい命の誕生と子どもたちの健全な発育のために知って欲しいこと

2022年5月7日(土)16:00~18:00(開場 15:30)
江東区豊洲文化センター 7階 レクホール

参加費 無料

主催: 第38回日本産婦人科感染症学会 共催: 昭和大学江東豊洲病院

第1部 16:00	司会: 昭和大学 産婦人科 田中 克巳
講演1 抗菌薬って何?	昭和大学江東豊洲病院 薬剤部 大戸 祐治
講演2 風邪に抗菌薬?	昭和大学江東豊洲病院 薬剤部 関戸 匡恵
第2部 16:30	司会: 昭和大学江東豊洲病院 産婦人科 後藤未奈子
講演3 妊娠前からお口のケアを	昭和大学歯学部歯周病学講座 小出 容子
講演4 妊娠中の感染症が胎児に与える影響 -DOHaD学説と感染症-	昭和大学江東豊洲病院 NICU 中野 有也
第3部 17:40	司会: 昭和大学江東豊洲病院 産婦人科 河野 春香
講演5 子宝を願う今、不妊治療でできることは?	昭和大学江東豊洲病院 産婦人科 近藤 哲郎

参加申込

事前申込が必要です。申込フォームにてお申込みください。

申込期間: 4月8日(金)~5月5日(木)

定員: 150名

申込料: 無料

申込方法: 年齢制限なし 第3部: 小学生以上 (小学生は保護者同伴)

申込フォーム: <https://forms.office.com/g/Hh3B22977>

申込QRコード:

申込受付期間: 4月8日(金)~5月5日(木) 10:00~17:00

申込受付場所: 江東区豊洲文化センター 7階 レクホール

お問い合わせ: 第38回日本産婦人科感染症学会事務局 産婦人科 産科感染症学術委員会 産科感染症学術委員会事務局 産科感染症学術委員会事務局

TEL: 03-3527-3921(16:00~17:00) FAX: 03-3527-3938 E-mail: info@jstg.or.jp <http://www.jstg.or.jp>




昭和大学江東豊洲病院
産婦人科
(診療科運営サイト)



昭和大学江東豊洲病院
周産期センター

ご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>総合サポートセンターの待ち時間が長過ぎます。診察で待つより長いには閉口します。 この流れ（システム）を検討すべきと思います。</p> 	<p>この度は、総合サポートセンターで大変お待たせしてしまったことを心よりお詫び申し上げます。 また、的確なご指摘をいただきましたこと感謝申し上げます。 私たちも日頃より、患者さんをお待たせしてしまうことにたいへん心を痛めております。 今年度は、総合サポートセンターのシステムを工夫することで、待ち時間が少しでも短くなることを目指していきたいと思っております。 患者さんが気持ちよく使っていただけるよう、また円滑な運営ができるよう努力して改善してまいります。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：看護部</p>



編

集

後

記

梅雨の季節となりました。病院の隣の小学校を上から眺めると、子どもたちの傘はとってもカラフルでお花畑のようで気持ちが和みます。

いつ降るともわからない雨空に、傘は必需品ですね。最近の傘は随分と軽く、丈夫なものが多くなりました。折り畳みの傘は100g程度で、水はけも良く、落ち運びにはとても便利です。使い捨てになりがちなビニール傘も、色柄が豊富でオシャレなものも多く売られています。選び抜いて買ったビニール傘には愛着があり、大切に扱われ長く使われるようです。

また、傘のシェアサービスも話題となっています。各駅に設置されている傘を、必要な時に借り使い終わったら自宅近くの駅で返す仕組みです。天気を気にせず、手ぶらでお出かけできるようです。

長雨で鬱陶しい日々が続きますが、皆さんもお気に入りの傘を見つけ、ウキウキする雨の日を過ごしてはいかがでしょうか。

看護部 ふくやま 福山 まいこ 麻衣子



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ



Showa University Koto Toyosu Hospital